

質問書に対する回答
首都圏中央連絡自動車道 松尾工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記P.25 25-3-2構造物掘削特殊部A1	横木矢板の設置および存置部以外の横木矢板の撤去・処分とありますが、横木矢板の撤去数量を確認できる資料がございませんので数量をご提示願います。存置となる親杭部分の横木矢板が存置となるものと考えられます。例えば、成田松尾線跨道橋A1橋台では存置横矢板はL-10.1m × H-10.72m=108m ² で、撤去横矢板は817m ² -108m ² =709m ² になるものと想定されます。	6月16日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 特記仕様書に誤りがありました。 上記については交付図書を訂正いたします。
3	設計番号47、48、49 設計図 土工 1/111 記号説明表	記号説明表において、用・排水管P(Po-A)-1-ϕD(Sd-B)、P(Po-A)-1-ϕD(Sd-B)(A)、P(Po-B)-ϕD(Sd-B)の説明欄に「90° 砂基礎」と表記されていますが、用排水構造物標準設計図集においては「2. (Sd-B)は、パイプの設置条件が半溝形のB型基礎(120° 砂基礎)を表す」と表記されておりますので、不整合と思われます。「90° 砂基礎」が正である場合の詳細図をご教示ください。	6月16日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 設計図 土工(本線・連絡等施設)に誤りがありました。 上記については交付図書を訂正いたします。
4	設計番号66	集水ますTypeQのDc(CS)-8.00-1.00-2.70の足掛金物(樹脂製被覆)の詳細寸法が明示されていませんのでご教示ください。	6月16日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 設計図 調整池に誤りがありました。 上記については交付図書を訂正いたします。